

# 神奈川ユニットセンター

## 実施体制

現参加者数（子ども） 5,789人

横浜市金沢区・小田原市・大和市でリクルート

その後、沖縄から北海道まで色々なところに転居された方もいます

横浜市立大学附属病院・小田原市立病院・大和市立病院

に詳細調査のご協力をお願いしています。

横浜市金沢区・小田原市・大和市の子ども支援課などとも連携。



## 参加者とのコミュニケーション活動

### 特集 小学6年学童期検査にご参加いただいた方にエコチル調査へのお気持ちを伺いました！

小学6年生では、小学2年生で実施した学童期検査と同様の検査を実施しています。今回のエコチル調査では、学童期検査の様子と、13歳以降の経過について、参加者にインタビューした内容となっております。小学6年生の保護者、または学童期検査は実施中ですので、ご協力をお願いします。小学5年生の保護者は、来年度実施いたしますので、よろしくお願ひします。

13歳以降の経過について詳しく知りたい方 →



### 学童期の調査ではこんなことを調べました！

- 身長 ● 体重 ● 体組成 ● アレルギーの有無
- 認知機能や集中力の調査 など

### 1 社会の役に立てるならうれしい | Hさん親子



2011年、分岐先の病院の先生から依頼を受けてエコチル調査に参加することになりました。お茶の時間や資料にするというものでしたので、社会の役に立てると思いました。昔よりもアレルギーの子供が増えていると聞いています。このような調査を通じて子どもが明らかになっていくといいですね。



なかなかできない検査ができるのでエコチル調査への参加は結構嬉しいです。自分の身体のことをよくわかるのもいい。それがみんなの役に立つといいですね。

### 2 子どもの成長を振り返るきっかけになる | Mさん親子

孫の世代が生まれ育つころには、エコチル調査の結果が何かのヒントになるように思っています。孫の世代に立つかも知れないので、孫の世代の成長を振り返るきっかけになります。エコチル調査は子どもと向き合うきっかけにもなっています。「大きくなったな」とか「こんなことができるようになったの」と少しずつ成長を振り返ることができる



身長や体重は正確に測れない時もありますが、自分の成長を振り返ることができることだと思います。でもコンピュータを使った調査は進んで、4年前よりもよくなりました。

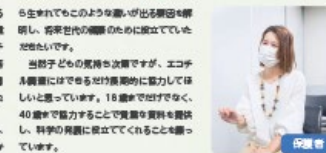


保護者

### 3 科学の発展に貢献したい | Iさん親子

私は母が医学研究に関わる仕事をしているので、このような長期調査プロジェクトの重要性がよく理解しています。そのためエコチル調査参加の打診をいただいたときは、即断で参加を断りました。第一子と第二子が調査対象ですが、第三子は調査年度から外れてしまったので残念に思っています。現在、一人にはアレルギーがありますが、他の二人にはアレルギーはありません。同じ調査が

生まれたころから調査に参加することが当たり前のようになって、参加することに特別意識はあまりありません。でも、調査が継続できていることは自分にとっていいことだと感じています。



保護者



お子様

ご協力いただいた皆様にポランティア証明書が振与されました！



エコチルかながわ通信を年1回参加者へお送りしています。今回は、学童期検査会場でエコチル調査への気持ちを参加者の方にお伺いしました。エコチル通信は、2024年カレンダーと一緒に参加者の皆様にお送りしました。

神奈川CUのHP

<http://ecochil-kanagawa.jp/>

# エコチル調査

子どもの健康と環境に関する全国調査

子どもたちの未来のために

～次世代育成につながる健やかな環境の実現するために、横浜市立大学ではエコチル調査を実施しています

